

第(だい)1回(かい)～第(だい)6回(かい) やさしい日本語(にほんご)を よく読(よ)んで、
避難(ひなん)について 考(かんが)えておきましょう。

●避難(ひなん)するところは、町(まち)に 6つあります。

- ①まなづる小学校(しょうがっこう)グラウンド ②真鶴中学校(まなづるちゅうがっこう)グラウンド
- ③ひなづる幼稚園(ようちえん)グラウンド ④岩(いわ)ふれあい館(かん)グラウンド
- ⑤町民(ちょうみん)センター ⑥真鶴聖苑(まなづるせいえん)

●どこに避難(ひなん)するか、家族(かぞく)で 話(はな)して、決(き)めておきます。

●会(あ)う場所(ばしょ)を 家族(かぞく)で 話(はな)して、決(き)めておきます。

●避難(ひなん)する 道(みち)を 決(き)めておきます。

●危険(きけん)かも? と思(おも)ったら、すぐにニュースを 聞(き)きます。

●町(まち)のスピーカーから 避難指示(ひなんしじ)が 聞(き)こえたら、すぐに避難(ひなん)します。

●持(も)ち出(だ)し品(ひん)を 入(い)れた リュックサックを持(も)って 避難(ひなん)します。

●避難(ひなん)する時(とき)は、頭(あたま)を ヘルメットで 守(まも)ります。

◇地震(じしん)が 発生(はっせい)したら

- ・津波(つなみ)が 来(く)ることがあります。
- ・津波(つなみ)が 来(き)そうな時(とき)は、すぐに高(たか)い場所(ばしょ)に 逃(に)げます。
- ・外(そと)に 出(で)ることが 難(むずか)しいときは、建物(たてもの)の
2階(かい)以上(いじょう)に 逃(に)げます。
- ・海(うみ)や 川(かわ)には 近(ちか)づきません。
- ・津波(つなみ)は 何回(なんかい)も 来(き)ます。
- ・避難指示(ひなんしじ)が なくなるまで 安全(あんぜん)な場所(ばしょ)にいます。



◇雨(あめ)が たくさん降(ふ)るとき

- ・道(みち)が 川(かわ)のようになります。
- ・溝(みぞ)や マンホールが 見(み)えなくなります。
- ・土砂(どしゃ)が たくさん流(なが)れてきます。
- ・町(まち)のスピーカーから 避難指示(ひなんしじ)が 聞(き)こえたら、避難所(ひなんじょ)
に 逃(に)げます。
- ・外(そと)に 出(で)ることが 難(むずか)しいときは、建物(たてもの)の 2階(かい)以上(いじょう)
に 逃(に)げます。山側(やまがわ)から 遠(とお)い部屋(へや)に 逃(に)げます。



◇風(かぜ)が 強(つよ)く吹(ふ)くとき

- ・風(かぜ)が 強(つよ)く吹(ふ)くときは、雨(あめ)が たくさん降(ふ)ることがあります。
- ・看板(かんばん)や 物(もの)が 飛(と)んできます。
- ・木(き)が 倒(たお)れることがあります。
- ・窓(まど)ガラスが 割(わ)れることがあります。
- ・町(まち)のスピーカーから 避難指示(ひなんしじ)が 聞(き)こえたら、避難所(ひなんじょ)に
逃(に)げます。
- ・外(そと)に 出(で)ることが 難(むずか)しいときは、家(いえ)にいます。
- ・窓(まど)から 離(はな)れます。



【翻訳】まなづる国際交流協会